

都会に暮らして実感した、 富山の贅沢。

広報とやま

令和6年9月5日号

発行 富山市 〒930-8510 富山市新桜町7番38号
編集 企画管理部広報課 ☎076(431)6111(代表)

ホームページ <https://www.city.toyama.lg.jp/>
富山市LINE公式アカウントなどSNSはこちら→

市川 晴華さん

「しろえび紀行」でした。どちらも小さい頃から知っている大好きな商品で、まさかそのCM制作をできるとは思っていなかったのでも感慨深い仕事になりました。「しろえび紀行」のCMは、お土産で買ったのについて新幹線で全部食べてしまったという実体験がもたっていて、地元の友達や両親から「おもしろかった!」「その気持ちわかる!」と共感してもらえたことが今までで一番嬉しかったです。また、富山のいいものを県内外の人に知ってもらうきっかけづくりができたことにも喜びを感じました。これからも富山に関わる仕事に携わり、たくさんの人に魅力を伝えることができるといいなと思っています。

リフレッシュのために富山に帰省中の市川さん（オーバード・ホール 中ホールにて）

素の自分に戻れる場所。

大学卒業後、上京して希望していた広告業界に入りました。仕事は楽しいのですが、プライベートの時間がほとんどないほど忙しい日々を送っていました。少し余裕が出てきた頃、時々富山に戻りゆったり働くのもいいなと思い、二拠点での生活をスタート。今はコロナ禍が明けて対面での業務が増えたため頻度は減りましたが、富山市内のカフェや公園などで企画を考えたり、好きなお寿司を食べたりして心身をリフレッシュすることが、とても大事な時間になっています。

私にとって富山は、本来の自分に立ち戻らせてくれる場所。おいしい水や食べ物、自然が身近にあり、快適に仕事ができる環境も整っていて、都会では考えられないくらい豊かで贅沢なところです。この生活を始めてから息抜きの仕方を覚え、オンオフの切り替えもできるようになりましたし、企画を考える上でも美しい風景や人々と触れ合う時間が、良いアイデアを生み出す原点になっています。最近では富山が好きすぎて、

東京の友人におすすめの場所やお店のリストを送ったり、年に数回富山旅を企画したりして魅力を猛アピール(笑)。その甲斐あってか、私の周りで富山を訪れる人が増えていて嬉しいです。

富山の魅力を伝える喜び。

栄誉ある広告賞をいただき、私のキャリアの大きな出発点となったCM制作の仕事が2つあるのですが、それが偶然にも県内に生産拠点のある「アロンアルファ」と、富山のお土産として有名な



東京でプランナーとしての仕事をする

どこでも夢は叶えられる。

今はどこでも仕事ができる時代です。むしろこれからは、場所を理由にはできなくなります。だからこそ、より自分の強みを磨き続けるための時間と思考が必要だと思っています。富山を拠点にしながら首都圏に向けて発信することもできますし、全ては自分次第です。やりたいことをとことん突き詰め、自分だけのプロフィールを作ることができれば、どこにいてもどんな働き方でも夢は叶えられると実感しています。

市川 晴華（いちかわはるか）さん

「CHOCOLATE」に所属。プランナー、クリエイティブディレクター。富山大学芸術文化学部卒業。広告を中心にSNSからTVCMまで、新しい表現を探りながら企画を行う。

この連載では、富山で活躍するさまざまな方の「アメイジング（驚くほど素敵）」な富山について掲載しています。過去の記事はこちら▶



WEBサイト

